

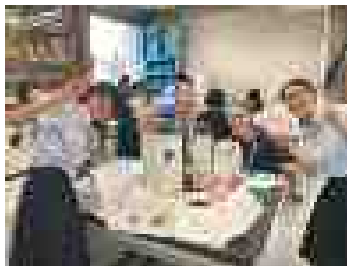
G7香川・高松都市大臣会合からはじまる香西振興プロジェクト

<高松市香西校区・地域おける活動実績 概要>

①夏越しの祭り

G7香川・高松都市大臣会合公式応援事業として、夏越しの祭りを行った。縁日会場を開催するとともに、町内に讃岐提灯を灯して、周遊型のイベントを実施した。実施にあたっては、香川大学・高松西校等が当日使用する提灯づくりや当日運営を担った。

- ①子ども甲冑づくり教室 6/10
- ②香西小学校における提灯作りワークショップ 7/5
- ③高松西高校における提灯作りワークショップ 7/4・5
- ④夏越しの祭り(当日) 7/8



②香西乱舞

早稲田大学の先生中心に、自治会加入者外も参加できるように調整を行い、地域の獅子運や奴・お舟そして神楽等の振興とPRを目指し、イオンモール高松にて香西乱舞を行った。香西乱舞後も、香西小学校において獅子舞教室を行った。

- ①参加連事前説明会 7/29
- ②香西乱舞～イオンモール公演～ 9/24
- ③香西小学校における獅子舞教室 10/13



③スタンプラリーとホームページ

早稲田大学の先生方に、スタンプラリーの設計やチェックポイントの調査を実施いただき、スタンプラリーに合わせたオープニングイベントの開催やスタンプラリーを実施した。

- ①西高生によるチェックポイント調査 8/27
- ②豆まき行事の衣装つくりと香西氏の文化調査 11/24
- ③衣装つくりと鬼の面つくり 1/14
- ④復活・オープニング行事「おんのみめいた～」 2/2
- ⑤スタンプラリーとホームページ 2/2～



<事業成果：設定した地域課題へのアプローチ>

【課題①：自治会組織の崩壊と加入率低下】

祭りを通じ地域行事への参加を促すと共に、学校に地域の人と関係人口が出向いて交流を図った。

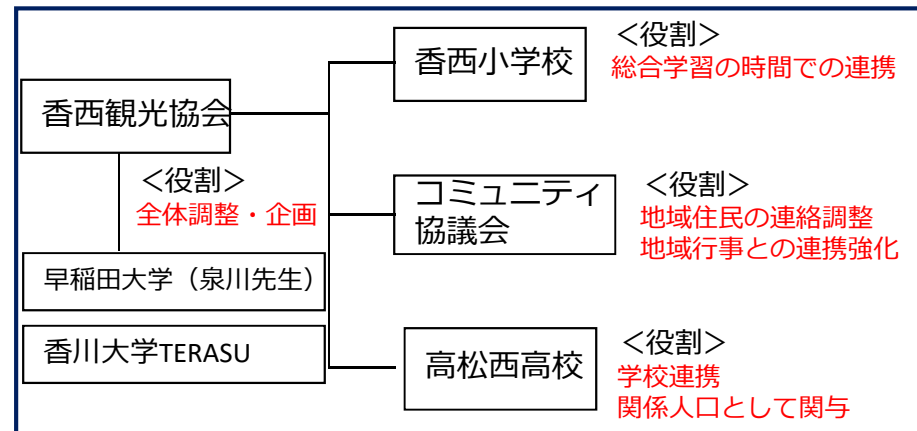
【課題②：香西商店街の空き家率拡大と地元商工振興会の衰退】

商店に立ち寄りスタンプラリーなどを通じて、新興住宅地の方々が店に足を踏み入れるきっかけを作った。

【課題③：大学卒業後の帰郷率の低下】

小学生と香川大学生との共同ワークショップを通じて地元の大学を知るきっかけとした。

<実施体制図>



<参画した関係人口の報告>

※参画した関係人口の人数・事業における役割等 参加人数 延べ 199名

①夏越しの祭り 152名 ②香西乱舞 11名 ③スタンプラリーとホームページ 36名

早稲田大学の先生には、関係人口としてプロジェクトの設計・運営していただくとともに、東京の勤務先である大学内でもPRをしてもらい、さらなる大学のフィールド調査など呼び込んでもらった。

また、香西外の関係人口として、香川大学や香川西高校等に、イベントの準備や当日の運営を実施してもらった。

<事業終了後の展望>

一度は休止した子ども獅子の復活や海外公演などを目指しながら、関係人口が地域の伝統行事に参加して、一緒に支えてくれる仕組みづくりを目指す。

「練り物連を通じた自治会振興」

- ①既存練り物連の振興
- ②勝手連・非自治会参加者連の結成と参加
- ③今年試験的に取り組んだ、お盆に同級生に会おう。に取り組む。

「早稲田大学と西高と共にプロジェクト化」

- ①笠居郷を舞台に共同研究（フィールド調査）
- ②香北地区文化財等総合計画の策定